

総合計画と人口ビジョン・総合戦略の概要と関連性

新・大分市総合計画

大分市のまちづくりを総合的かつ計画的に進めるため、市政運営の基本指針として定める計画です。大分市には様々な計画がありますが、総合計画は最上位計画であり、大分市の行政運営は全て総合計画に沿って進められます。

総合計画は、「基本構想」と「基本計画」によって構成されます。

基本構想（平成28年度～36年度）

まちづくりの最も基本的な指針としてこれからめざす大分市の姿と、その実現のための市政の方針を明らかにしたものです。

基本計画（平成28年度～31年度）

基本構想を実現するための施策の方向を体系的に示すものです。

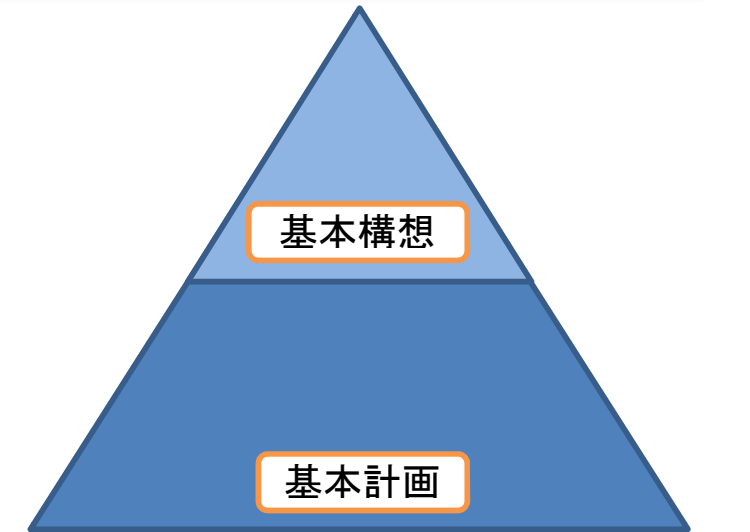
2024（平成36）年 人口見通し
おおむね48万人

大分市総合戦略

【計画期間：平成27年度～31年度】

将来人口ビジョンを踏まえ、今後大分市が将来にわたり発展していけるよう、大分県や県内市町村などと連携を図りながら、地方創生に関する取組を進めていくため、今後5力年の目標や施策の基本的方向・方針、具体的な取組をまとめるものです。

基本的方向及び取組は、総合計画の各施策の内容と整合性を図りながら策定



「大分市人口ビジョン」の作成
対象期間 2060年
(1)人口の現状分析 (2)人口の将来展望

2060（平成72）年
45万人程度